

見沼中学校区における義務教育学校に関する意識調査

見沼中学校区の学校再編成に対する保護者の意識調査を実施

1 期間：令和2年10月26日（月）～30日（金）

2 対象：

北河原小・荒木小・須加小及び見沼中1年に在籍の児童生徒の保護者
令和3・4年度入学予定の未就学児の保護者

設問

小学校3校中学校1校を、施設一体型の義務教育学校として
再編成することに { 賛成 or 反対 } である

	賛成	反対	無記入	回答数	世帯数	回収率
北河原小	14	8	0	22	25	88%
	63.6%	36.4%	0.0%			
荒木小	16	59	6	81	101	80%
	19.8%	72.8%	7.4%			
須加小	12	18	3	33	43	77%
	36.4%	54.5%	9.1%			
見沼中1年	10	21	5	36	36	100%
	27.8%	58.3%	13.9%			
計	52	106	14	172	205	84%
	30.2%	61.6%	8.1%			

※ 1世帯1回答とし、複数の児童生徒がいる場合は上位の学年に計上

※ 小学校においては、未就学児を含む

主な意見

【賛成意見】

- ・小中が一緒になることで中学生の人間関係だけでなく、精神的な不安が減りそうだと思う。
- ・小学校同士の合流をしても小規模校に変わりはなく、小中ともに廃校となることも予想される。今の時期に義務教育学校として、将来的に北部地区の中核学校として存続させることが重要。
- ・教科担任制が早くから実践されるのは子供にとって非常に有意義。
- ・小5、6年生の英語の授業をしっかりとれるのは一体型にするものの良い面だと思う。

【反対意見】

- ・小学校・中学校は別の方がよい。
- ・小中一体型とするメリットが感じられない。
- ・保護者の願いは複式学級の解消であり、義務教育学校設立ではない。
- ・義務教育学校の具体的な内容が分からないなかで賛成できない。
- ・小学生、中学生が同じ校舎、校庭で一緒に過ごすことには無理があり、不安を感じる。（中学生の学習面、小学生の安全性など）
- ・現見沼中の建物をそのまま使う案は学校生活を安心、安全に過ごせるとは思えない。増築等は必要。
- ・10年後に次の再編が予定されるなら、施設の改修にお金を使うのは無駄であり、そのまま使える小学校の施設を使うべき。
- ・9年間クラス替えもなく同じメンバーで過ごすことはよいことと思えない。クラス替えを経験させたい。
- ・義務教育学校でも中学校の少人数がずっと解消できない。中学校の統廃合を進め、学習・部活動等のあらゆる活動で行き届いた環境を。